
Complex elbow instability の治療の現状

肘関節不安定症の中で、複合性肘不安定症 (complex elbow instability ; CEI) は骨性要素ならびに靱帯性要素の破綻を伴う難治性の外傷とされる。その典型例としては、肘関節脱臼に橈骨頭・頸部骨折および鉤状突起骨折を伴う terrible triad injury, 外側靱帯複合体損傷に鉤状突起の anteromedial facet の骨折を伴う posteromedial rotatory instability や肘頭脱臼骨折などがある。近年、本外傷に対する基礎的・臨床的な研究が進み、肘関節外科の中でも大きなトピックスの一つとなっている。しかし、CEI の発生頻度自体は決して高くなく、また術前に損傷状態や病態を正確に把握することが困難なことも多いため、その診断方法や治療方針などについて十分なコンセンサスが得られているとはいえない。

本特集では、まず CEI の概念について、バイオメカニクスの分野にも造詣が深い稲垣克記先生にご執筆をお願いした。局所解剖については、機能解剖学的な基礎研究で大きな成果を上げておられる大歳憲一先生、二村昭元先生に最新の知見を詳述していただいた。私は東京医科歯科大学との解剖的研究を基に、代表的な手術アプローチ法の詳細を述べた。CEI の中で最も発生頻度が高くかつ難治性である terrible triad injury においては、鉤状突起骨折に対する対処法別に、保存療法、観血整復・内固定法、創外固定法について、それぞれ、洪淑貴先生、岩部昌平先生、坂井健介先生にご執筆いただいた。御三方とも各々の治療法に精通したエキスパートである。また posteromedial rotatory instability および肘頭脱臼骨折については、各々臨床の第一線でご活躍の南野光彦先生、森谷史朗先生に、病態把握や診断に必要な検査法、そして実際の手術方法など、現時点での治療戦略について述べていただいた。お忙しい中、ご執筆賜った先生のお陰をもって、CEI の治療の現状を知るには最適の特集となったと自負している。お読みいただいた皆様にとって、本特集が明日からの診療の一助になることを願っている。

(今谷潤也)